

国指定史跡西条古墳群を紹介する説明板をJR神野駅前及び加古川北公民館に新設しました！

主催	加古川市教育委員会 文化財調査研究センター
日時	令和7年3月14日（金）設置済
場所	JR神野駅 駅前広場 加古川北公民館 玄関脇
内容	<p>加古川市では、国指定史跡である西条古墳群が指定から50年を経過したことを記念して、令和6年度に「西条古墳群国史跡指定50周年記念事業」を実施しました。今回の説明板は、記念事業の一環として制作したものです。</p> <p>西条古墳群は、行者塚古墳・人塚古墳・尼塚古墳の3基が指定されており、山手2丁目の住宅街に点在しています。古墳好きの人々には良く知られた古墳ですが、外部から訪れる見学者からは場所が分かりにくいなどの声が寄せられていました。今回の説明板は、最寄り駅となる神野駅の駅前広場と、中継地となる加古川北公民館に設置し、地図を大きく掲載するなど工夫をしています。</p> <p>また、3月21日には西条古墳群の中心的な古墳である行者塚古墳について、発掘調査の成果をわかりやすく紹介した冊子『行者塚古墳～墳丘・造り出しと埴輪・土製品の概要～』を刊行しました。文化財調査研究センターの窓口や、加古川総合文化センター、市内の図書館、公民館などで配布していますので、加古川の歴史や古墳時代について興味のある方は是非手に取ってみてください！</p> <p>（ <input type="checkbox"/>初めて <input type="checkbox"/>恒例 <input checked="" type="checkbox"/>回目 ）</p>
対象（参加者）	一般
定員	-
参加費	
申込先・方法	冊子は文化財調査研究センター、加古川総合文化センター、図書館、公民館などで入手可能
目的・背景 その他	西条古墳群国史跡指定50周年記念事業として制作
市ホームページ	掲載済み ・ 掲載予定（●月●日） ・ <input type="checkbox"/> 掲載しない
広報かがわ	●月号に掲載 ・ ●月号に掲載予定 ・ <input type="checkbox"/> 掲載しない

佐奈古墳群
国史跡指定50周年記念冊子

行者塚古墳

～ 墳丘・造り出しと埴輪・土製品の概要 ～



令和7(2025)年
加古川市教育委員会

調査成果の概要

■ 墳丘

古墳所で対峙する平野部の南端が良好に残っていたため、前方部・後方部とも三段築成で、墳高は約9mであることがわかりました。墳丘本体の下段と造り出し、2段目の下段までは土山を削り出して築成し、それより上は盛土で造成しています。剝離層全てが石で覆われ、墓室石と区画石には大欠りの楕円形を刻んでいます。形式の特徴としては、後方部帯に比べて前方部が長いこと、前方部と後方部を結ぶロープを持たないことなどが挙げられます。

■ 造り出し

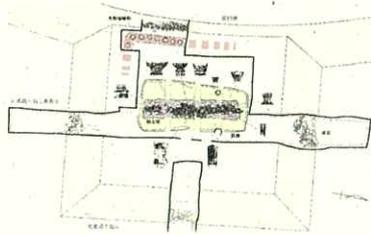
造り出しを大きく造り出しでは、階段や形状に並立し、同様に楕円形や角状の配置、各層での傾斜などが確認されています。

■ 周溝

周溝は2～5mの深さで楕円形の形状であることがわかっています。平成7～8年の調査では、後方部の周溝で遺物を確認し、幅1m程度の周溝と、その外側に外溝・外溝溝が同心円状に並んでいたことが確認されました。



北東造り出し



北東部は、造り出しのほぼ中央に掘り込まれた築造内に設けられていました。築造の北東からは5mほど掘り込まれた。北東部を突貫した後、築造を埋め戻す際に造られたと考えられます。掘り出しから出土した土製品は、埴輪や土器の破片です。そのほか、造り出しの北東部には、まだ良好に保存されていた。これらの造り出しの上部に同じく掘り込まれていたことが明らかになりました。



出土した埴輪類は、深溝のつくりや入口の高さなどに異なるとは考えられます。埴輪類は、甲冑、盾、鏡（文部省委託による）といった武器類のものも多くあり、埴輪を護衛するための「埴輪」の機能といえます。北東造り出しは、造り出しと埴輪の役割を持った空間としてつくられていました。

